

挑む!

若い社会起業家を育成・支援

中村 多伽さん (24)

起業家の卵に本気で寄り添う

大学4年生だった2017年11月、

環境や教育など社会の課題解決を志す

若者を支援する会社「taliki」

(京都市)を設立した。支援の対象は

25歳以下。事業の立案から製品化、サ

ービスづくりまで2カ月で達成するブ

ログラムを提供する。

学生時代、カンボジアに小学校を建

てる支援活動に参加した。だが、建物

はできても、草の根の活動では教育の

継続は難しかった。では、大局的な立

場に回ってみては？ 政治・経済を専



東京都生まれ。京都大総合人間学部卒。「人並みに」就職活動をして企業の内定も得ていたが、辞退して起業の道へ。社名は仏教の「他力本願」から。

門的に学ぶため渡米したが、統計をもとに物事を決める仕組みは、一人ひとりの力が反映されないと感じた。

「現場のいちプレーヤーでも、大きな組織でもしっくりこない」。考えた末に、「現場のプレーヤーを増やす側にまわろう」との結論に至った。

京都にはたくさんさんの大学が集まる。「おもしろい活動をしている学生は多いが、投資家のサポートは少ない。つながる場をつくりたい」。起業経験者が相談役につき、参加者同士もSNSで交流する。塾、食品ロスを解消するための会社……。1年間でサポートした約70人のうち、6割が起業した。

同志社大の近くに、誰でも集まれる拠点を設ける。「起業家の卵には、1日に何度も悩みや不安が襲う。日常的に本気で寄り添うことがキーになる」

文・写真 野中良祐

記者から

徹底して若者側の視点に立つ姿勢。従来の起業支援にはない情熱を感じます。